



旭市議会議長

明智忠直

健やかで安心して住める まちづくりを目指して

新年明けましておめでとうございます。
市民の皆さまには、新しい年をご家族お
そろいで健やかにお迎えのことと心から
お喜び申し上げます。

私は昨年の十二月議会におきまして、
議員各位のご推挙により第四代議長に就
任したところでございます。当市議会は、
一月、三月、六月、九月、十二月に議会
を開催して市民の皆さまが傍聴するなか、
合併後の諸問題を市当局と真摯に議論し
てまいりました。また、議会としても市
民に分かりやすい議会を念頭に、近隣他
市に先駆けて一般質問の一問一答方式を
採用したところでございます。

ところで、わが国の社会経済情勢は、
少子高齢化が急速に進むなか、泥沼の年
金問題を始め、原油価格の高騰、円高・
株安、ねじれ国会等に象徴されるように
混沌としております。一方、地方の財政
状況は、地方分権、三位一体改革に伴い、
国から地方へ税源委譲がされましたが、
それに伴う国庫補助金や交付税の見直し
などにより、財政的にはマイナスの影響
となり、併せて急激に進む少子高齢化等
による福祉、医療、保健などの公共サー
ビスの増大、多様化などにより、今年も
厳しいものになると予想されます。

そんななか、当市では合併後の新市の

基盤整備のため、小中学校の耐震補強工
事、中央病院のアクセス道路、防災公園、
パークゴルフ場、上下水道などの整備を
行っていますが、その一方で市民生活に
不可欠な保健、福祉、環境、さらに市民
の安全・安心、とりわけ子どもへの安全対
策等、時代にあつた総合的な行政サービ
スが求められております。また、市の基
幹産業であります農業・漁業の振興、旭
の特性を生かした観光の振興や商工業の
振興および旭中央病院の再整備や周辺病
院との連携など、新市が果たすべき事柄
が山積しており、それらを総合的に実施
するには、引き続き行財政の合理・簡素
化が必要となっております。

今年は合併後三年という節目の年です
が、新市で定めた総合計画に基づいて実
施する事務事業や諸問題に対し、市当局
と活発な議論を交わし、議会が果たすべ
き役割を十分発揮して「市民の皆さまが
健やかで安心して住めるまちづくりを目
指して」努力を重ねてまいる所存であり
ます。

市民の皆さまには、市議会に対しまし
て、なお一層のご理解とご協力をお願い
するとともに、皆さまのご多幸とご健勝
をご祈念申し上げます、新年のあいさ
つといたします。

